

私有地を青少年に解放

宮川さんご夫妻 (福島)

健全育成化の願いこめて

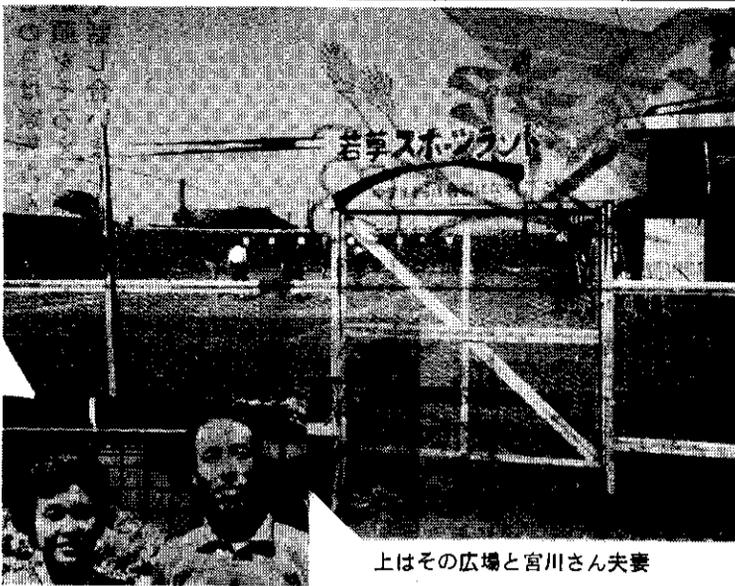
大学福島の宮川健一さん(公務員・35才)と真澄さんご夫妻は「青少年たちの楽しい遊び場」にと、私有地八二五平方メートルを解放し、その名も「若草ランド」と名づけました。

かねてから「子どもたちに安心して遊べる場所を」と思っていた宮川さんは、自分たちの土地を遊び場に解放することとを、昨年の秋ごろから仕事のあひ間を見ては「くわ畑」の敷地に作りかき、さきごろそれが完成したもので、周囲に高さ二メートルの金網をはりめぐらし、テニスコートや子どもたちの遊び場

ベンチなどをそろえたステキなランドで、総工費に八万円もかかったとのこと。

このランドについて宮川さんは、将来は「金費制」にして、フォークダンスや音楽祭などもやり、若い人たちのレクリエーションの場としてひろめていきたいと語っています。

風がおる五月のさわやかさにもたお話し、と地区の人たちに感謝されております。



上はその広場と宮川さん夫妻

福島小学校の

通学道路が完成

福島小学校児童の「通学道路」がPTAの奉仕作業によって、このころ完成しました。同校の正面を国道二五四号線の交通量はきわめて多く、児童たちはいままでの危険をおかして通学しておりました。この「通学道路」が完成したことにより、児童たち

も安心して通学できることになったわけですが、この完成した通学道路は同校正面から国道をよこぎり南へ通じる幅員一メートル、長さ四十八メートルの道路と同校東側門から東へ通じる幅員一、五〇メートル、長さ九十七メートルの二本の道路で、PTAが四月間にわたり、のべ百十人が奉仕し完成したもので、上はその作業の様子です。

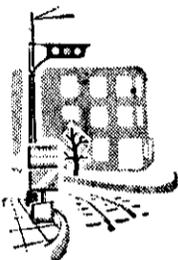


作業の様子

春の全国交通安全運動

五月十一日から二十日までの十日間「春の全国交通安全運動」が行なわれます。これは、人命尊重の見地から交通事故防止の徹底、とくに歩行者の交通事故の絶滅を目標として、歩行者の交通安全の正しい交通ルールの実践を習慣づけようとするもので、「もういちどよく見て渡れ手をあげて」「ブレーキは早めに」「スピードは控えめに」をあいことばにして、次のような実施目標をきめております。

- ① 安全な横断の確保
 - ① 歩行者
 - ① 道路に飛び出さない。
 - ② 横断歩道直前の一時停止を守る。
 - ② 車の直前・直後の横断をしない。
 - ③ 横断をするときは手をあげて、車が止まつてから渡る。
- ② 「ブレーキは早めに」
- ③ スピードは控えめに
- ④ 右と左をよく見て横断する。
- ⑤ 横断歩道で渡る習慣をつくる。
- ⑥ 無理な追越しをしない。
- ⑦ 二輪車を運転するときヘルメットをかぶって運転する。
- ⑧ 安全な踏切道通行の確保
 - ① 踏切道直前の一時停止と安全確認を励行する。
 - ② 保安施設を整備改善する。



「明るい家庭環境を」

福島駅前広報塔たつ

若菜のみどりがまばゆくはえ、大空に高く「こいのぼり」がおよよ五月は、明るい健康的な子ども達の季節といえます。

五日の「こどもの日」から十一日まで、児童福祉週間が行なわれ、これは昭和二十六年に、こどものすこやかな成長とあわせを願って児童憲章が制定されたのを記念して設けられたものです。これは、

① 明るい正しい家庭の愛
② 正しい愛情明るい環境
③ 児童はつばなな社会人
④ すべての児童をすこやかに
⑤ 児童憲章は、子どもの守りが大きな目標です。ところが「福島地区」は果から明るい家庭づくりモデル地区に指定されており



ますがこのほど福島駅前写真のような「広報塔」がたてられました。町の青少年問題協議会がたてたものです。

みなさんのご家庭でも、こどもの成長を祝い、家族そろってのだんらんなど、こどもとともに、楽しいひとときを過ごすよう心がけてください。

ナスなどをよく見回り、虫と被害葉を早く見つけること。

被害葉は、樹の外側の部分とか、高いところなど外側から比較の見やすい所に現われるので、葉を早く見つけ、その部分の枝や葉を切り取り、焼くか踏みつぶしてください。またさなぎを捕殺することも有効です。

木のはだの割れ目、地中の浅いところ、被害樹の幹に巻かれたワラやすすぎ皮の間などを注意してみてください。



豆力士が熱戦 青少年相撲大会

四月二十九日に「青少年相撲大会」が小幡小学校の校庭に開かれました。これは、甘楽町協会の小幡支部(飯塚勝久会長)が主催したもので、当日多数の豆力士が出場して、土俵せましく元気いっぱい好取り組が続出し、あつまつた約三〇〇人の観衆の拍手をあげました。

アメリカシロヒトリの撲滅

今が絶好のチャンス

アメリカシロヒトリは恐ろしい害虫です。この害虫をこのままにしておきますと、市街地から緑の樹木が姿を消すことになり、農村部においても、農作物や樹木に大きな被害を受けることとなります。そこで、県が中心となつて五月から九月までの六カ月間「アメリカシロヒトリ撲滅県民運動」を、県下いっせいに展開することになりました。次のことがらをよく読んでこの運動にご協力ください。

◆どんな虫か
ゲムシの一種で、成虫は体長一〇〜一二ミリ、からだ一面に白色毛でおおわれています。くわ、さくら、プラダナ

スなどの植物の葉のうらに淡黄緑色で〇・五ミリぐらいの卵を約六百個ぐらいつけたまて産みます。この卵のかたまりは成虫のりん粉でおおわれ、ちようど白毛で薄くおおわれたようになつていきます。この卵は約十日ぐらいたかえり、体長約三センチ、頭部は光沢のある黒色、体色は淡黄色の幼虫となります。

幼虫期は三十日から三十五日ですが、この間にかたまつて生息する幼虫はものすごい勢いで葉を食い荒らし、樹木を枯らしてしまいます。

◆防除の方法
① 幼虫の発生時期になつたら、くわ、さくら、プラダナ

生野菜を食べよう

農薬と寄生虫にご注意

生野菜がたくさん出回り始めました。家庭菜園も、いろいろな生野菜でにぎわっていることでしょう。

野菜類はカロリこそ少ないが、各種のビタミン類やカルシウム、鉄などのアルカリ性無機質に富んでいます。いわば、美しさと健康の泉です。とくに野菜にたくさん含まれているビタミンCは、わたしたちの生活に欠かせない要素です。ところが、このビタミンCも料理のやり方次第のように減ってしまいます。

① 煮ると一〇%から五〇%が失われる。
② 煮てから水気をしぼると五〇%から七〇%が失われます。
③ 短期間煮ても一〇%から

県収入証紙の売りさばき所

当町では五箇所

現金扱いであつた県の使用料、手数料が、ことし四月一日から現金扱いをやめて、県の発行する収入証紙によつて納入することになりました。当町で指定されている「群馬県収入証紙売りさばき所」は、次のとおりです。

「小幡」 甘楽町農業協同組合、甘楽町森林組合(役場内)

「秋州」 農協秋州事業所

「福島」 農協福島事業所

「新屋」 農協新屋事業所

電(気)安(全)

ちよつとしたことが大事につながる電気事故を防止しましょう。

① 外出と電器器具
必ずコンセントからきりはなしましょう。

② ビニールコード
蛍光灯、ラジオ等の口出し線以外には使わないこと。

③ 特に、最近これのしろうと配線がめだちますが、事故の取りは

福島が優勝

体協・春の野球大会

甘楽町体育協会(柴山俊一会長)が主催する春の野球大会は、四月十日と十七日に第一中、二中の校庭にわかれて行なわれました。

この大会には八チームが参加、決勝で投球チームと対戦した福島チームが、3対1で勝ち優勝しました。

訂正記事「前号の町営住宅・下井団地入居者名のうち、倉持兵男とあつたのは、倉茂兵男の誤りでしたので訂正します。